

2024年12月24日(火)

個人投資家向け会社説明会

証券コード:4531



有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

アジェンダ

- i. 会社概要
- ii. 当社事業の紹介
- iii. ESG対応
- iv. 23中期経営計画(2023.4-2026.3)
 - 概要
 - 2025年3月期上期までの進捗

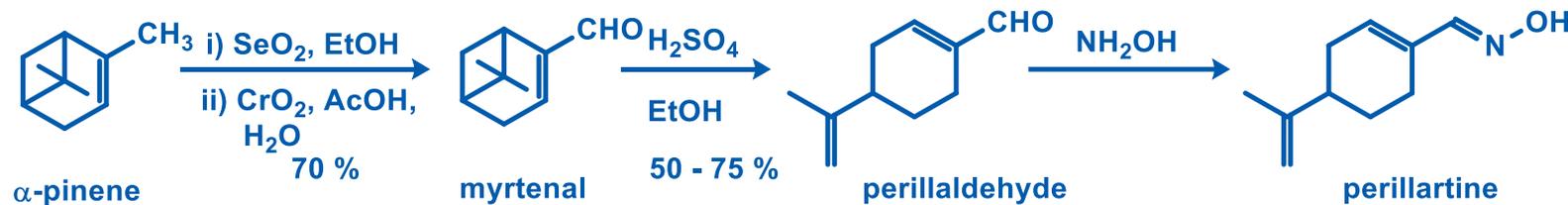
企業理念

わが社は内外のあらゆる技術を駆使して
人の役に立ち 人によろこばれるものを**創る**



会社概要

水島研究室で見いだされた、人工甘味料ペリラルチンの製造法



水島三一郎 先生

針葉樹から抽出される精油の主成分

紫蘇糖の主成分

砂糖の2,000倍の甘み
タバコ用の甘味料として使用

- 1947年 たばこ香料(ピース用)の生産を目的にベンチャー企業として設立
-東京大学理学部水島研究室-産業化学研究所-大蔵省専売局(当時)
- 1952年 グリシン(アミノ酸)、イソニアジド(結核薬原薬)販売開始
- 1962年 東京証券取引所第二部に上場
- 1964年 いわき市・常磐工場の操業開始
- 2004年 東証一部上場
- 2022年 東証市場再編に伴いスタンダード市場へ

●事業所 常磐工場(いわき市)、本社(東京)、研究所(東京)、営業所(大阪、ドイ

事業所紹介

デュッセルドルフ事務所(ドイツ)



常磐工場(福島県)



大阪営業所



本社(東京都)



東京研究所



その他

グループ会社:
ユーキテクノサービス
(当社100%子会社)



常磐工場

1964年操業開始

李相日監督

映画『フラガール』(2006)
1965年の常磐地区が舞台

炭鉱から観光へ
鉱業から工業へ

1961-64



1974-78



現在



生産量

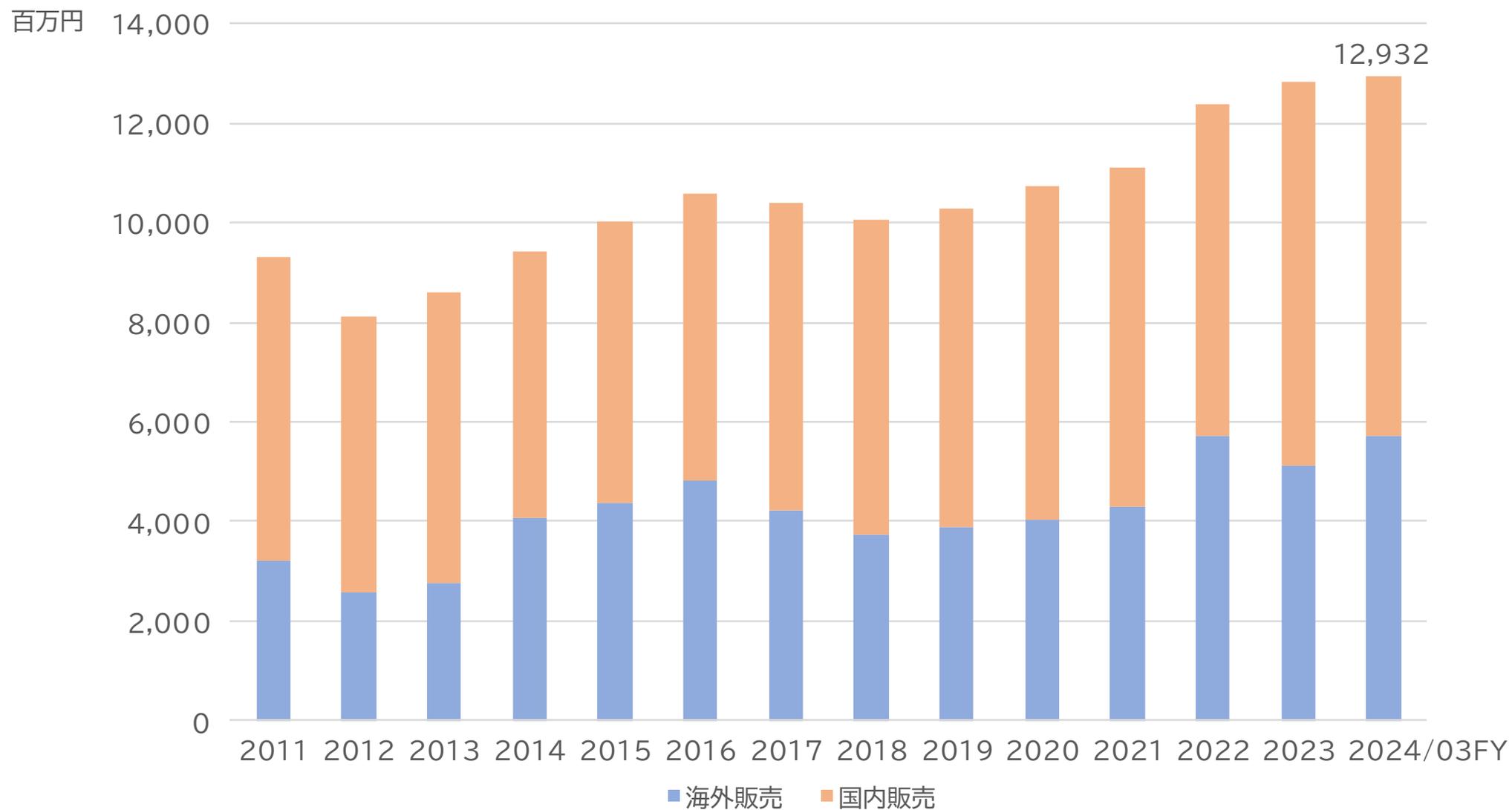
6,325トン

敷地面積

143,967m²

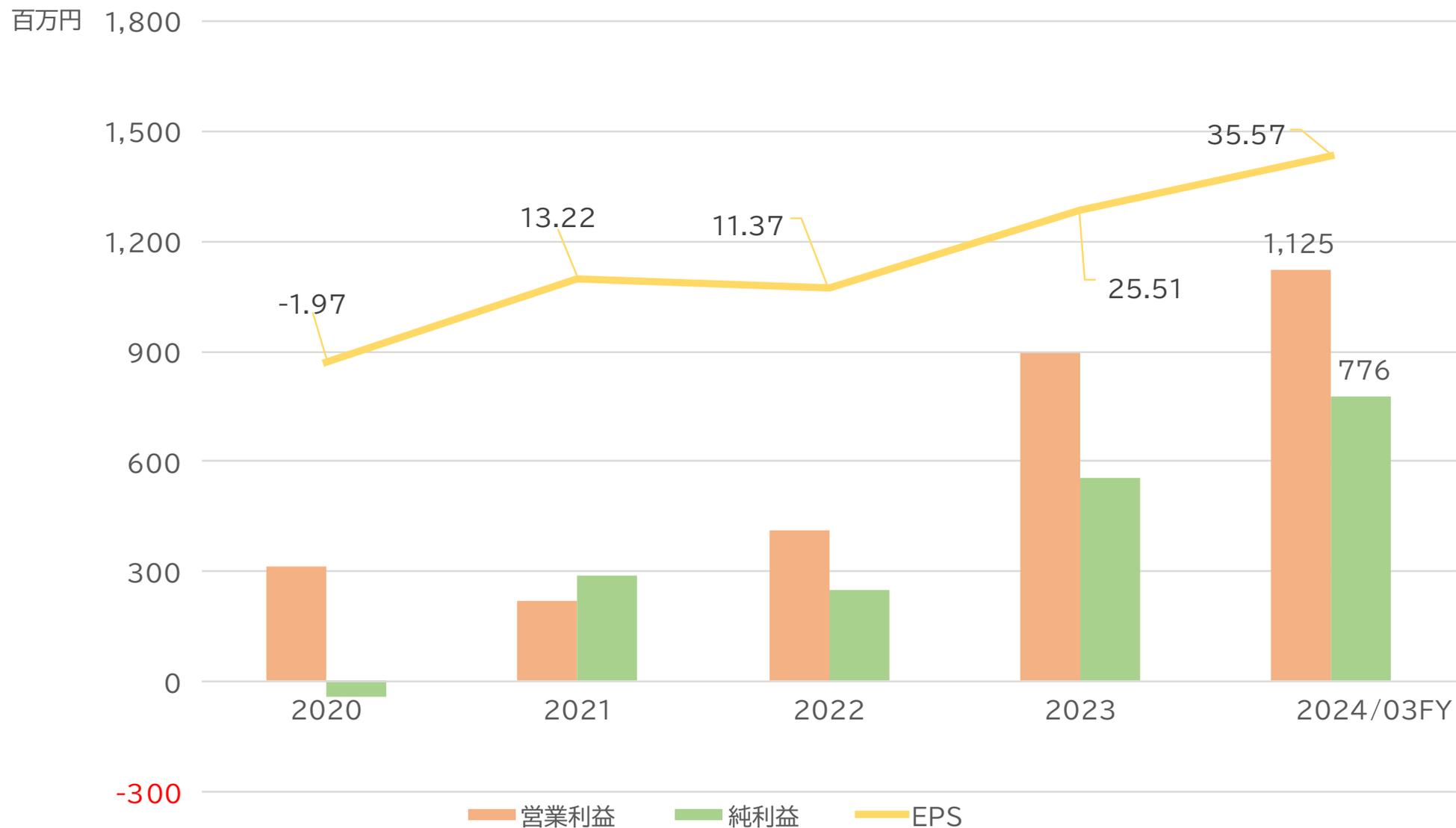
(2023年度データ)

長期業績推移(売上高)



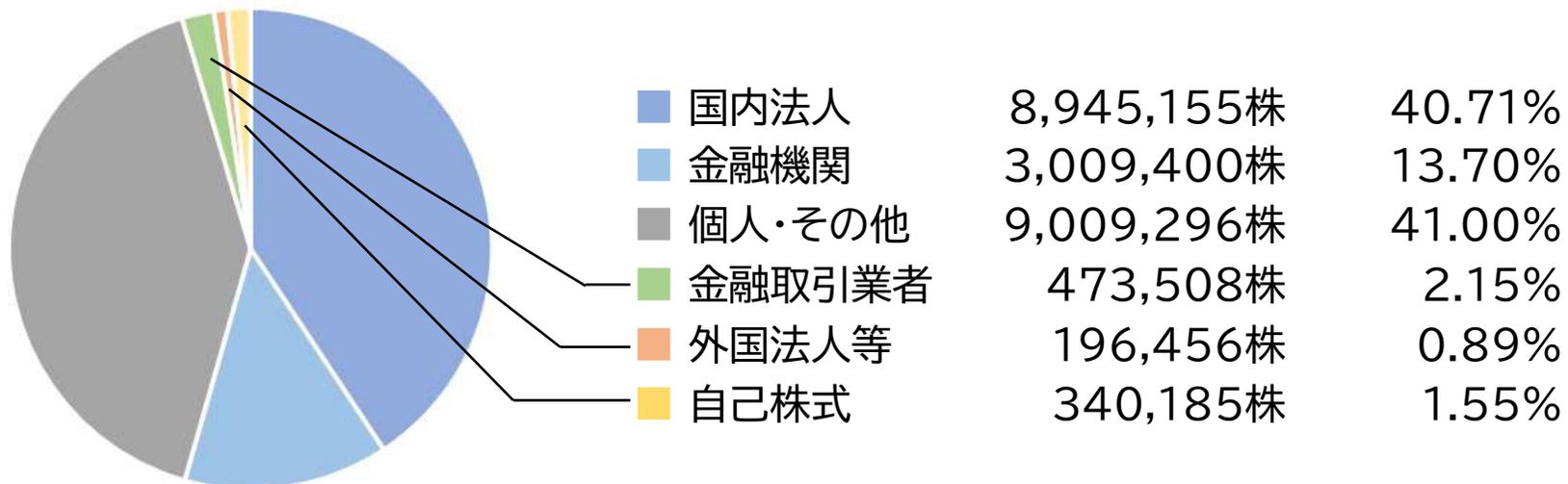
業績推移

営業利益、純利益、EPS(1株純利益)



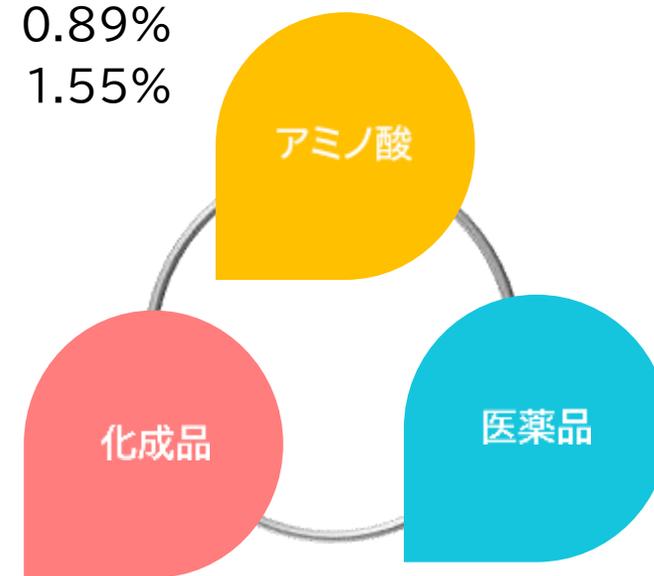
株主構成

■所有者別分布状況（2024年9月30日）



主要株主(取引先)

- ・ニプロ
- ・長瀬産業
- ・大鵬薬品工業
- ・住友商事ケミカル
- ・ゼリア新薬
- ・住友ファーマ
- ・あすか製薬



アジェンダ

i. 会社概要

ii. 当社事業の紹介

iii. ESG対応

iv. 23中期経営計画(2023.4-2026.3)

-概要

-2025年3月期上期までの進捗

ユーキでつなぐ未来



Enriching Lifestyles

アミノ酸分野



Improving the Future

化成品分野

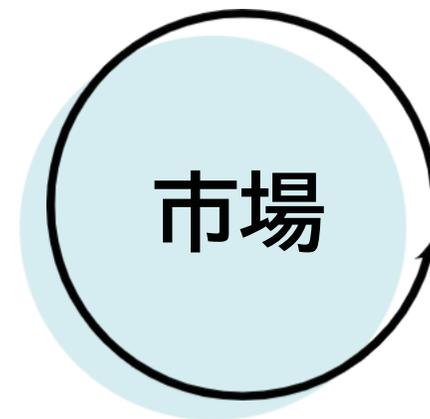
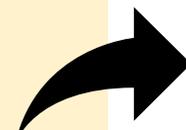
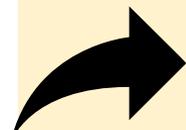
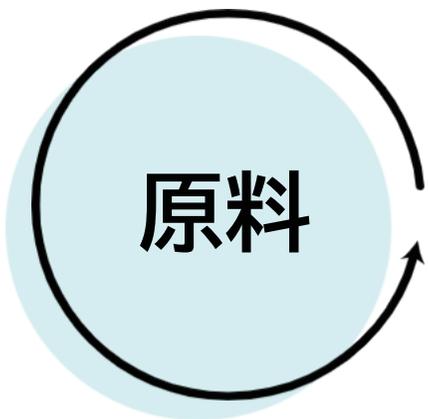


Protecting Lives

医薬品分野



当社事業



化学会社

- アミノ酸

グリシン ベータアラニン

- 化成品

一般工業薬品 等

- 医薬品

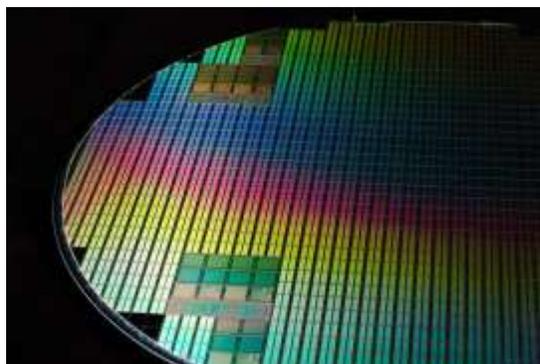
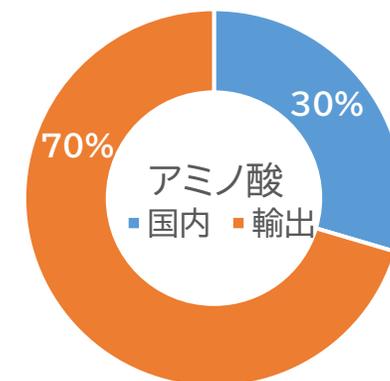
原薬(有効成分) 原薬中間体 等



化学会社
製薬会社
食品会社

アミノ酸

高品質なアミノ酸で人びとの暮らしをサポート
(グリシン、βアラニン)



半導体用途

研磨剤
(CMPスラリー)

医薬用途

アミノ酸輸液

サプリメント

日持ち向上用途

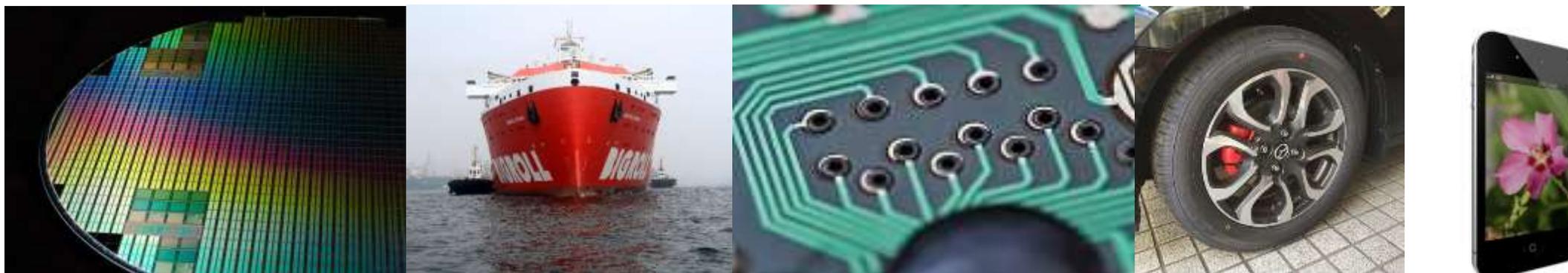
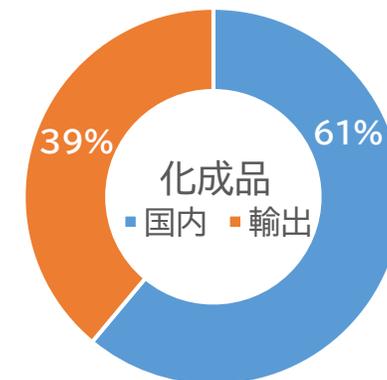
調味料用途

動物向け用途

ペットフード

化成品

有機合成技術で機能化学分野をサポート



特殊触媒

半導体用表面処理剤

船底塗料モノマー

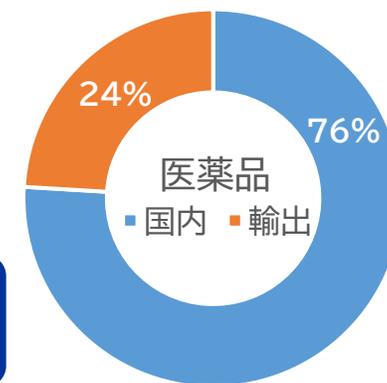
機能性ポリマー原料

電子材料用ポリマー原料

タイヤ材料

医薬品

医薬品原薬・中間体で人びとの健康をサポート



医薬品原薬

医薬品中間体

化粧品原料



自社開発原薬

- ・抗ヘパリン原薬
硫酸プロタミン
- ・抗結核原薬
イソニアジド

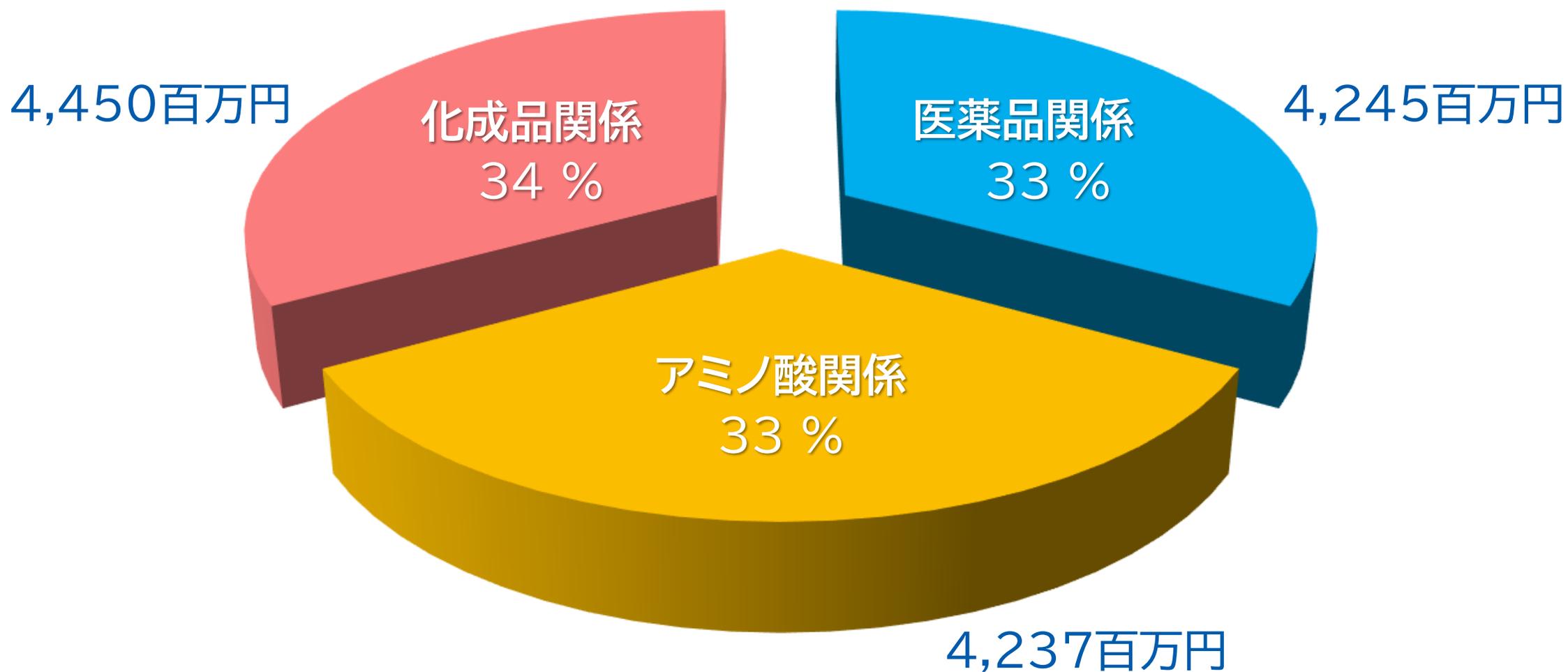
- ・抗がん剤原薬
- ・抗ウイルス原薬
トリフルリジン
- ・インシュリン製剤原料
硫酸プロタミン

その他

- ・新薬の受託ビジネス
- ・ジェネリック原薬(ニプロと業務提携)

事業内容区分・売上高

売上高 12,932百万円
(2023年4月-2024年3月)



アジェンダ

i. 会社概要

ii. 当社事業の紹介

iii. ESG対応

iv. 23中期経営計画(2023.4-2026.3)

-概要

-2025年3月期上期までの進捗

ESGへの取組み

企業の社会的責任(CSR)基本方針

人の役に立ち人によろこばれるものづくりに絶えず挑戦し、社会に新しい価値を提供し続けていくことで、人びとの快適な暮らしを支え、豊かな社会や環境づくりに貢献し、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

CSR REPORT 2024

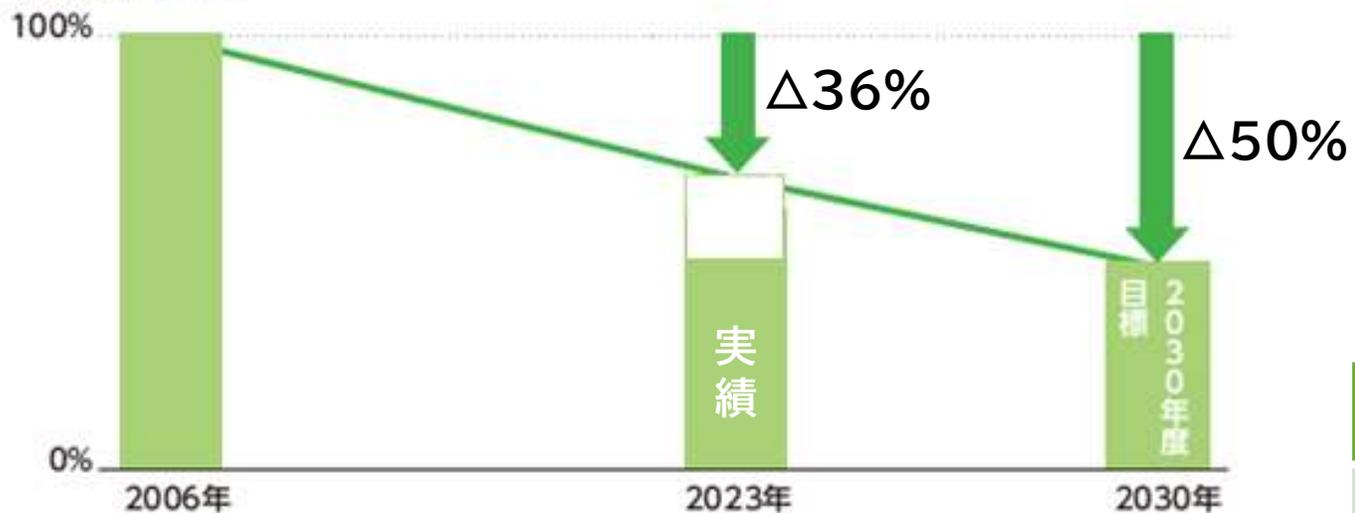


(会社ホームページからは[こちら](#))



気候変動対策 Environment

中長期ビジョン



CO₂排出量
2030年削減目標 **50%**



CO₂削減への取組み

- LNGへの燃料転換(2007年)
- コージェネレーションシステム導入(2014年)
- カーボンニュートラルLNGの一部導入(2022年)
- 再生可能エネルギーへ切替(本社完了、2023年)

	目標	2023年度実績	削減率
CO ₂ 排出量	36%削減 (2006年度比)	15,530t	51.7% 目標達成



エネルギーと環境

Environment

LNGによる蒸気製造(ボイラー)



LNGによる自家発電
(コージェネレーションシステム)



廃棄物、環境対策

Environment

最新の活性汚泥処理装置 (膜処理法廃水処理)



活性汚泥の活用(肥料として)



サステナビリティレーティング

 Environment

 Society

 Governance



EcoVadis ;185か国、150,000社以上参加

サステナビリティレーティング『ゴールド』を獲得

「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」の
4つの調査項目で、**上位5%**となる『ゴールド』と評価



エンゲージメントサーベイ

Society

従業員定着率



98%(昨年)
※離職率2%

有休休暇取得率



90%(昨年)
※一昨年実績84%

男性育休取得率



100%

女性比率
女性管理職比率



19.2%(18.8%)
11.9%(11.5%)

(括弧内は前年度実績)

定期的な
社員教育システム



コンプライアンス
意識の向上

アジェンダ

i. 会社概要

ii. 当社事業の紹介

iii. ESG対応

iv. 23中期経営計画(2023.4-2026.3)

-概要

-2025年3月期上期までの進捗

23中期経営計画の基本方針

『激変する経済環境の中、主要製品の売上を拡大しながら、新製品を継続的に導入し、以て向こう10年間の成長に資する礎を築く』

23中期経営計画のゴールと将来の姿

アミノ酸分野の目標

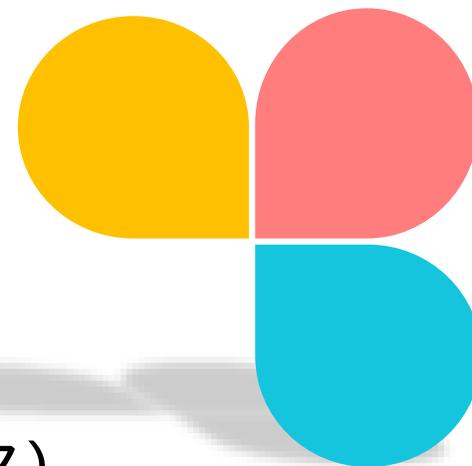
アミノ酸(グリシン、βアラニン)のトップシェア維持拡大

化成品分野の目標

ニッチ領域における原料供給のリーディングカンパニー
(IT・半導体、船底塗料、特殊触媒)

医薬品分野の目標

グローバル市場へ医薬品原料を届ける先端CDMO(受託ビジネス)



23中期経営計画、重点施策について

営業利益は7%目標

持続的成長のためアミノ酸事業への投資を実行

将来の売上拡大を見据えた投資と、マーケティングによりグローバルニッチのトップシェアを堅持

I. クオリティーカルチャーの醸成

クオリティーカルチャーの向上により、業務スピードを上げ
事業継続性を通じた社会貢献を実現する

II. 企業価値の向上

研究開発型企业として技術力を磨くと共に、社内における行動変革により
労働生産性を上げ、高収益体質を目指す

III. アミノ酸分野の事業構造改革

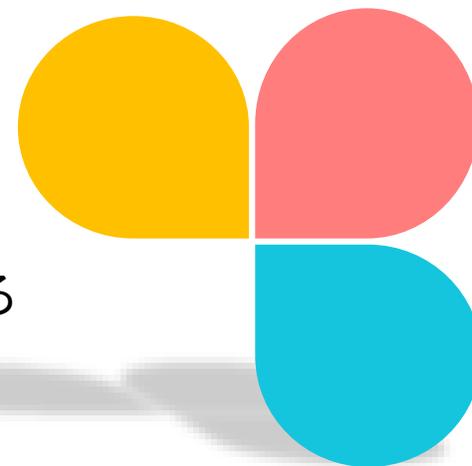
アミノ酸の事業構造改革を推進し、世界市場でのトップシェアを維持・拡大する

IV. 化成品事業の拡大・再構築

新製品への挑戦と不採算品目の構造改革により、化成品分野を拡大・再構築する

V. 医薬品分野の受託ビジネス拡充

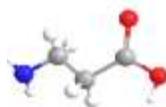
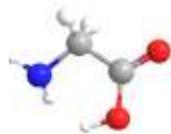
グローバル対応可能な原薬・中間体の優れた供給企業として、お客様からの
信頼を得ると共に受託件数を伸ばす



23中期経営計画で強化・挑戦するテーマ

アミノ酸分野

グリシン



βアラニン

機能開発
サプリメント



医薬分野
半導体分野



化成品分野

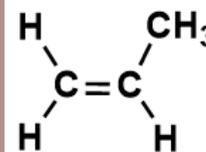
半導体用途



電子材料用途
電池材料用途



触媒分野



船底塗料



医薬品分野

受託ビジネス
(CDMO)



核酸
動物細胞



低分子原薬
ジェネリック原薬



出発原料
中間体

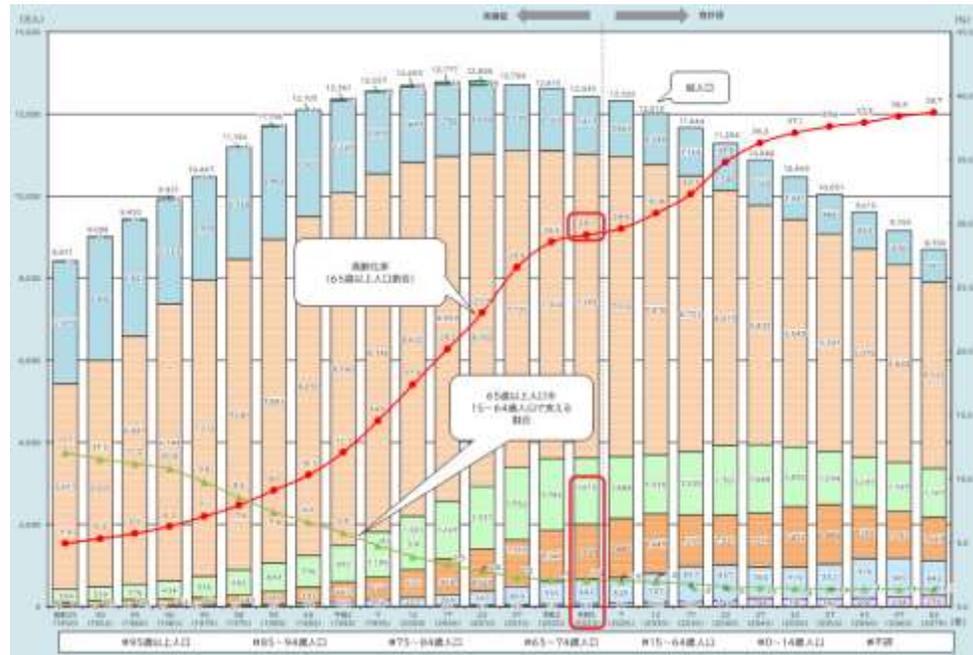


23中期経営計画で強化・挑戦するテーマ

アミノ酸分野

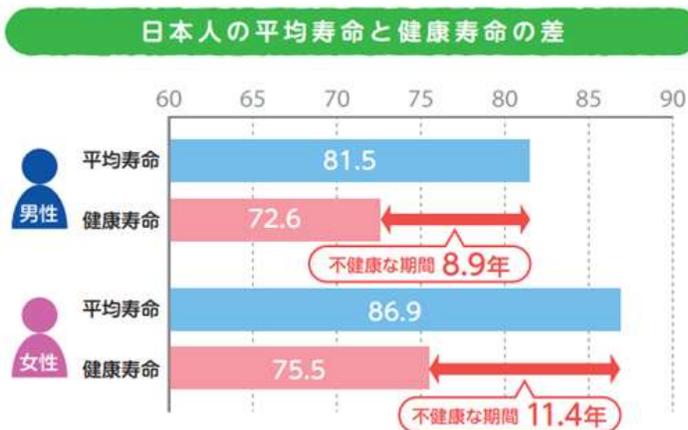


■ 労働人口の減少



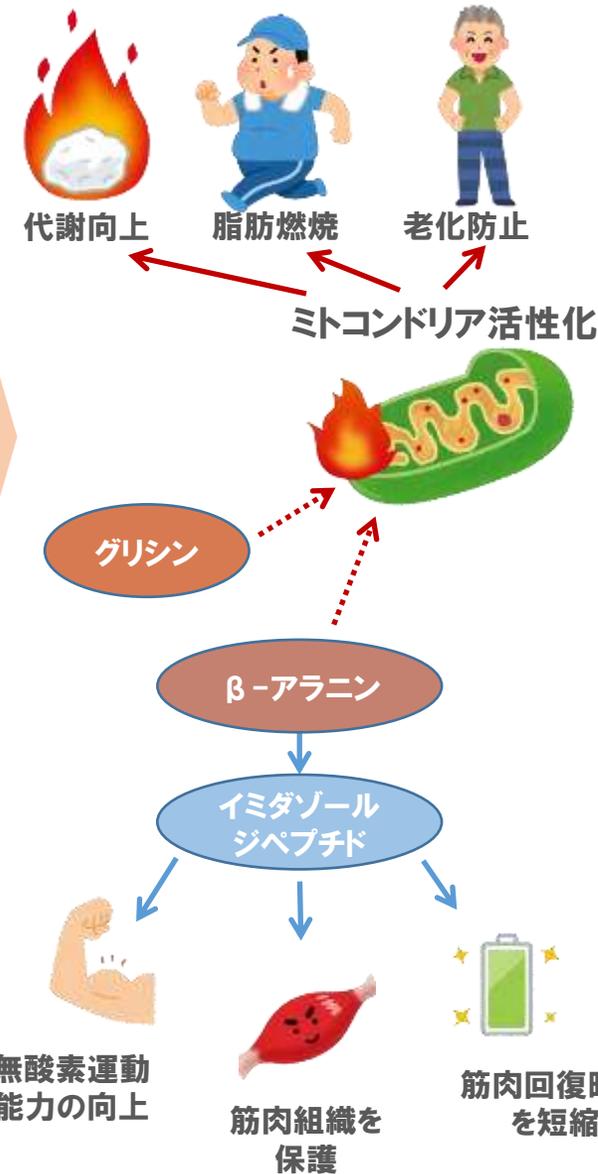
(出典:内閣府「高齢社会白書」)

■ 平均寿命と健康寿命の差



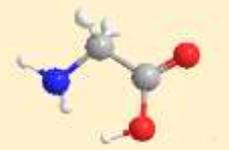
(WHOより当社まとめ)

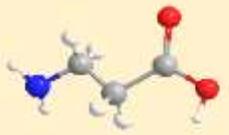
■ 用途開発(一例)



グリシン

βアラニン





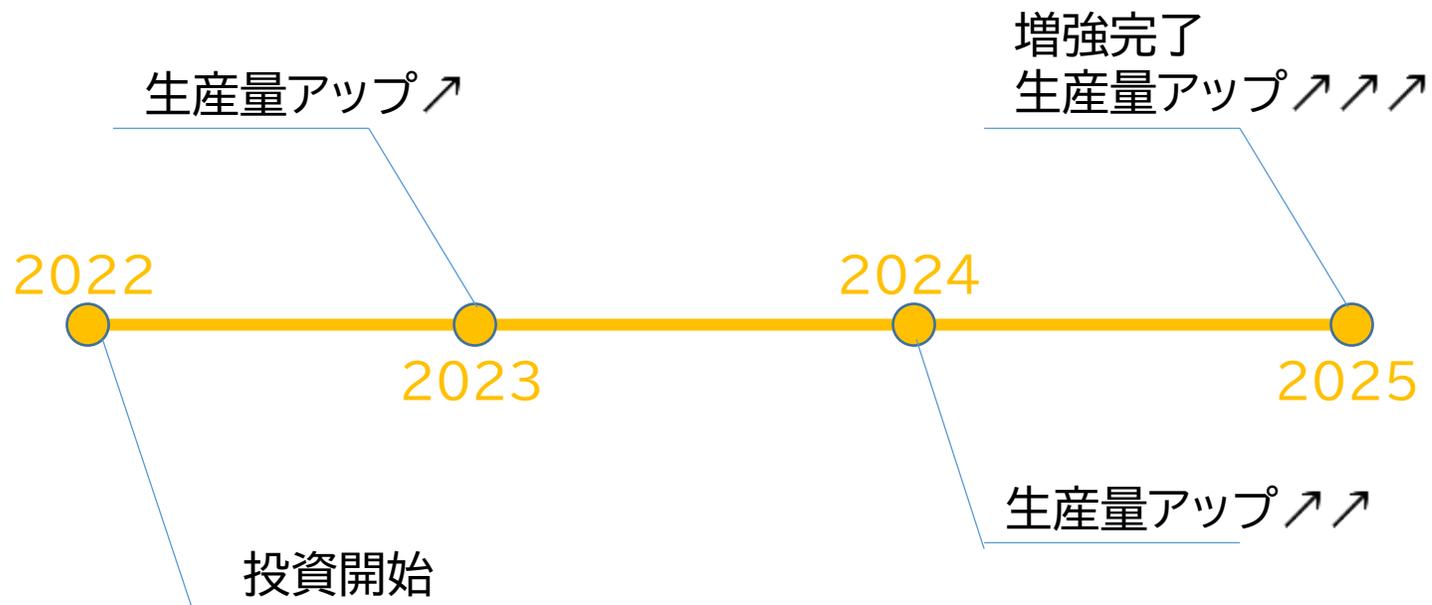
- 新商品開発
- QOL向上、心の健康の促進
 - ◇高保湿化粧品素材の開発
- 未病・予防医療の推進
 - ◇機能開発
 - ◇サプリメント商品開発

28

生産設備の増強計画

アミノ酸の生産能力拡大

47億円を投じて半導体分野、医薬品分野、食品分野への供給拡大
 投資期間:2022年~2025年

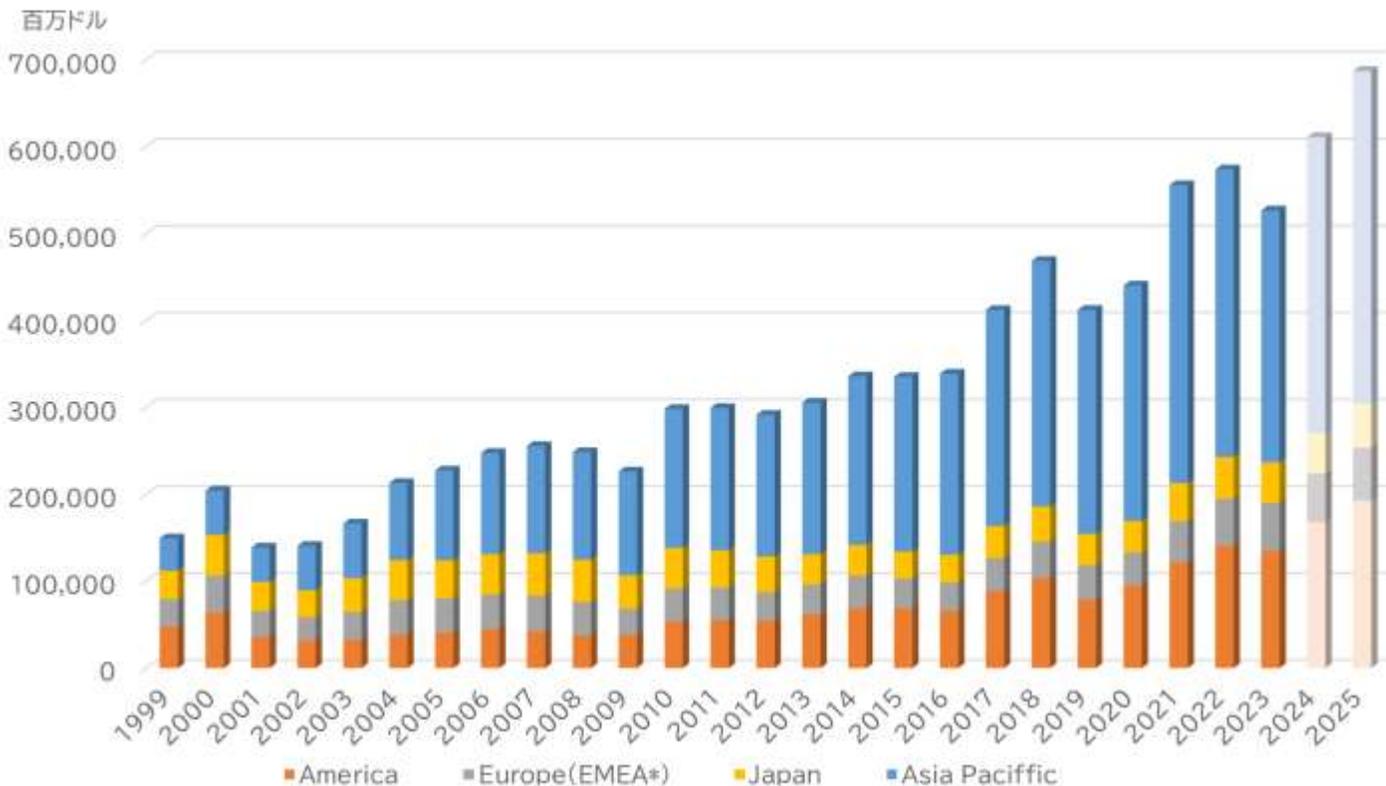


23中期経営計画で強化・挑戦するテーマ

化成品分野



■ 生成AI関連の需要増により半導体市場は拡大



(世界半導体市場統計(WSTS)より当社まとめ)

半導体素材の供給



電子材料素材の開発



世界のサプライチェーンは新興国にシフトする中で、安定供給と高い技術力によりユニークな素材を提供

■ AIの普及→電子機器の高機能化

➡ 最新の素材が求められる
(環境対策、耐久性等)

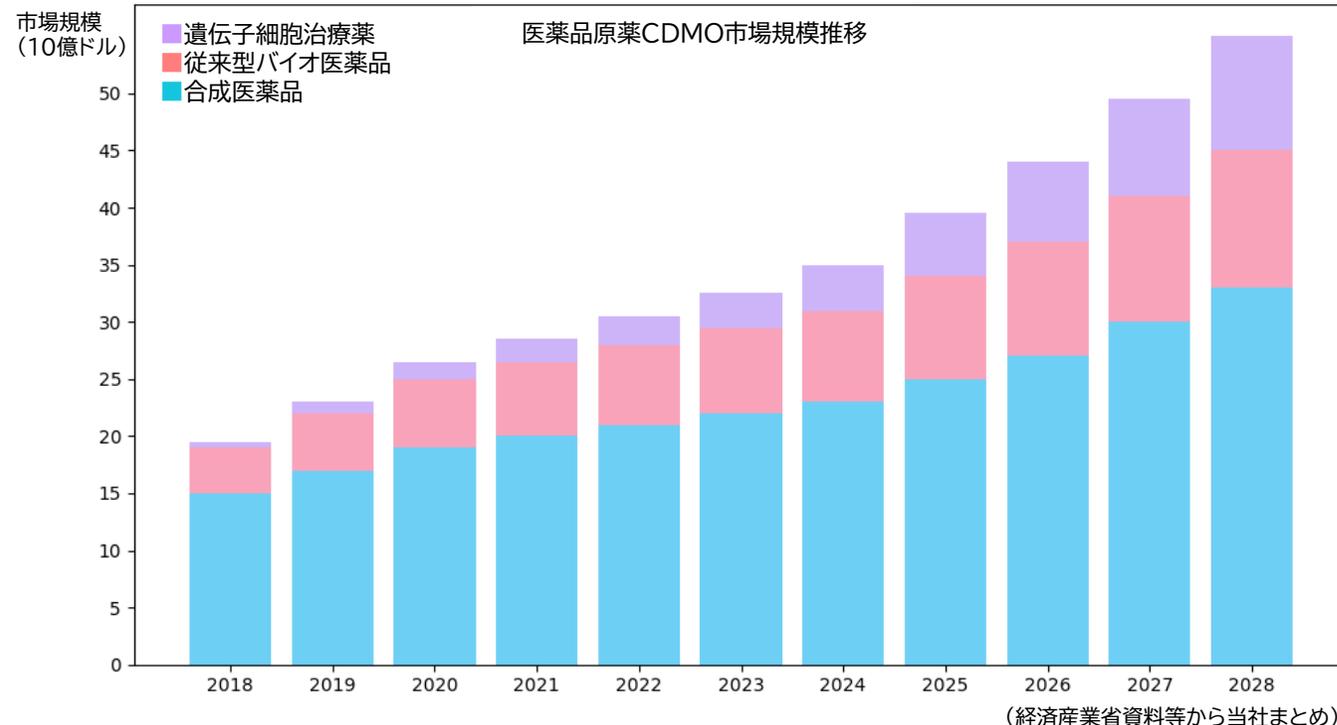
23中期経営計画で強化・挑戦するテーマ

■ 医薬品開発・製造受託(CDMO※) の市場は拡大中

※CDMO:Contract Development & Manufacturing Organizationの略

- 製薬企業のアウトソーシング戦略:製薬会社が自社リソースを新薬開発に集中させるため、製造や開発を外部委託する動きが加速
- 規制対応の複雑化:各国の医薬品規制に対応するために、CDMOが専門性を発揮
- 「安定確保医薬品」への原材料供給

(厚生労働省「医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議」より)



CDMOの強化

100カ国以上の規制に対応した経験を活かし、ポートフォリオを拡充させ、顧客のグローバル展開をサポート

生産設備の増強

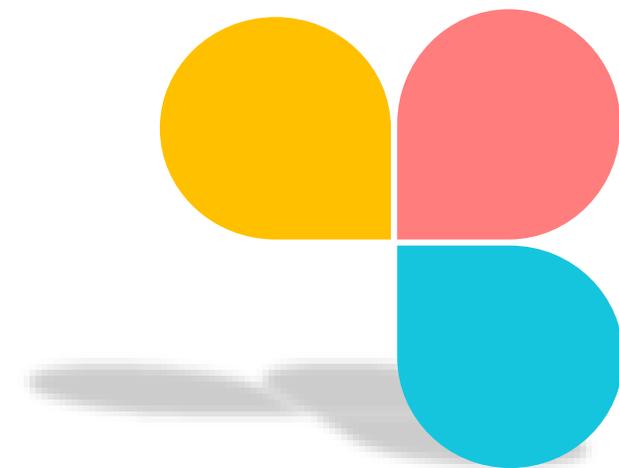
医薬品分野の新規設備

38億円を投じて医薬品原薬、重要中間体の供給拡大

2018年稼働開始



廃水負荷低減可能な
熱媒システム採用



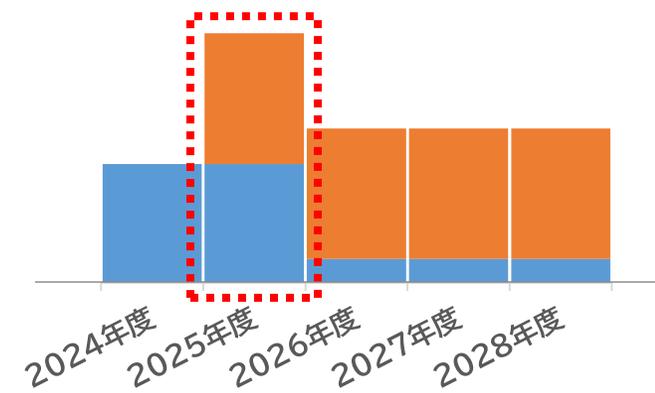
23中期経営計画

新中期経営計画（年度別、百万円）

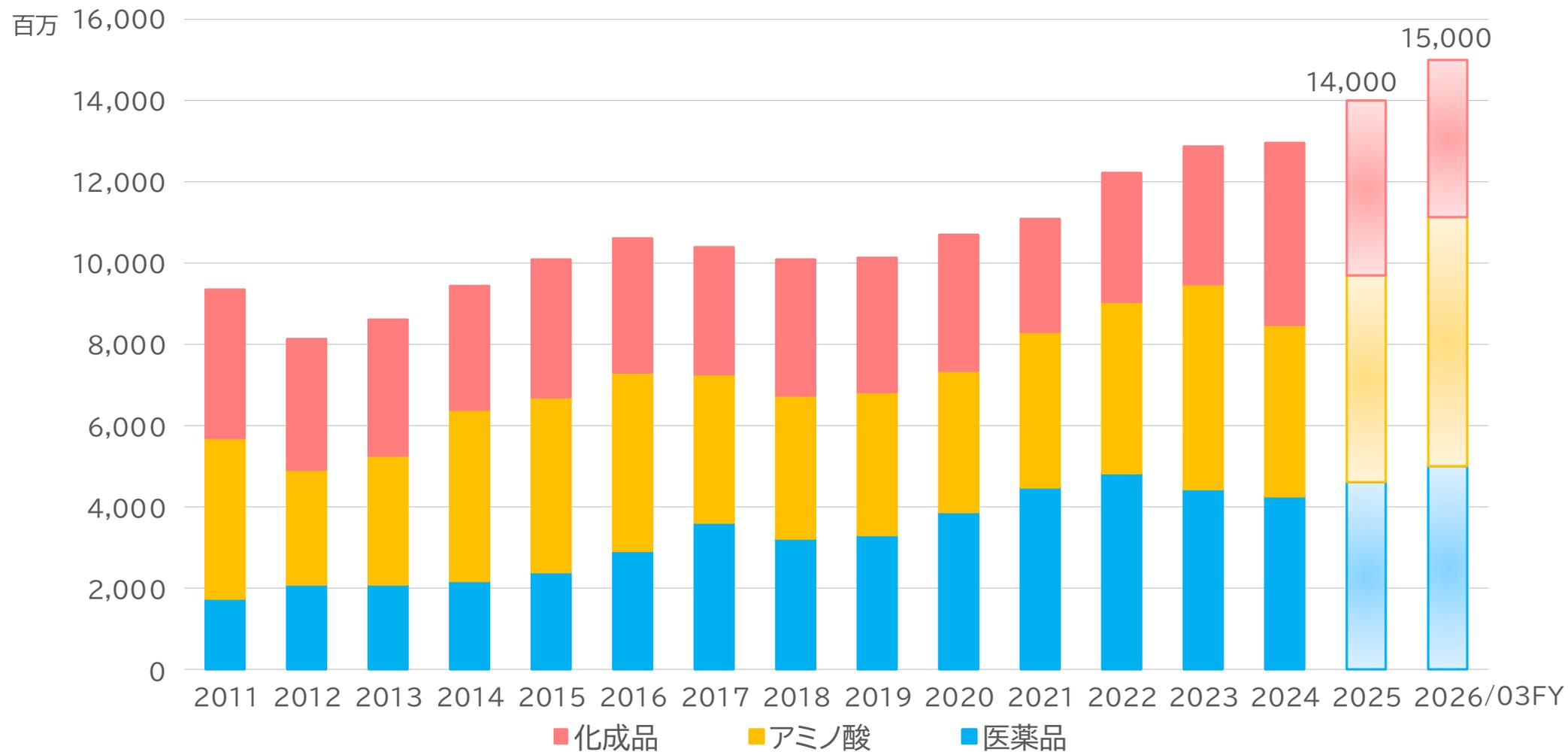
	2023年度	2024年度	2025年度
	1年目	2年目	3年目
売上高	13,500	14,000	15,000
アミノ酸関係	5,800	5,400	6,100
化成品関係	3,500	3,600	3,900
医薬品関係	4,200	5,000	5,000
営業利益	840	1,000	850
経常利益	810	980	830
当期純利益	600	740	620
ROA	4.2%	4.5%	4.2%
EBITDA	1,831	2,205	2,321
EBITDA マージン	13.5%	15.7%	15.4%

一時的な償却負担増

※ 投資設備の
減価償却イメージ
■ 医薬品設備 ■ アミノ酸設備



23中期経営計画を含めた業績トレンド



アジェンダ

i. 会社概要

ii. 当社事業の紹介

iii. ESG対応

iv. 23中期経営計画(2023.4-2026.3)

-概要

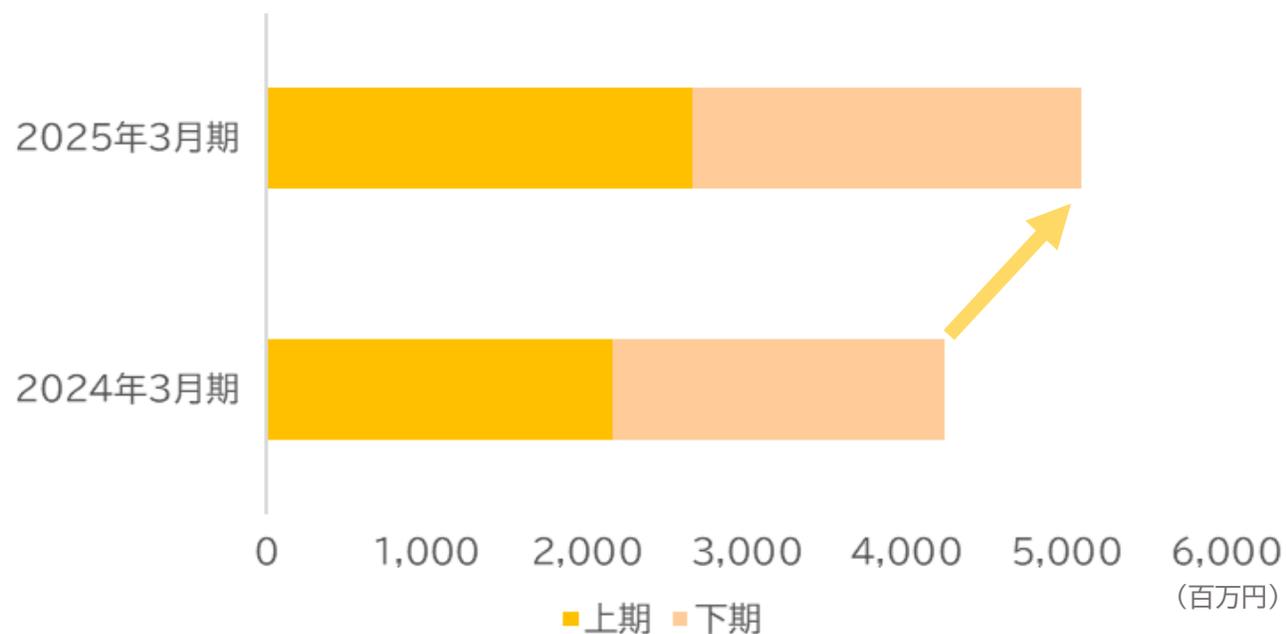
-2025年3月期上期までの進捗

2025年3月期上期までの分野別進捗

売上高 上期実績	売上高 通期予想	進捗率 対 通期予想
26.7 億円	51 億円	52%



売上実績・予想



◇上期

国内向け・輸出とも増収
新規用途向けグリシンが好調
食品用途の輸出販売が減少

◇下期

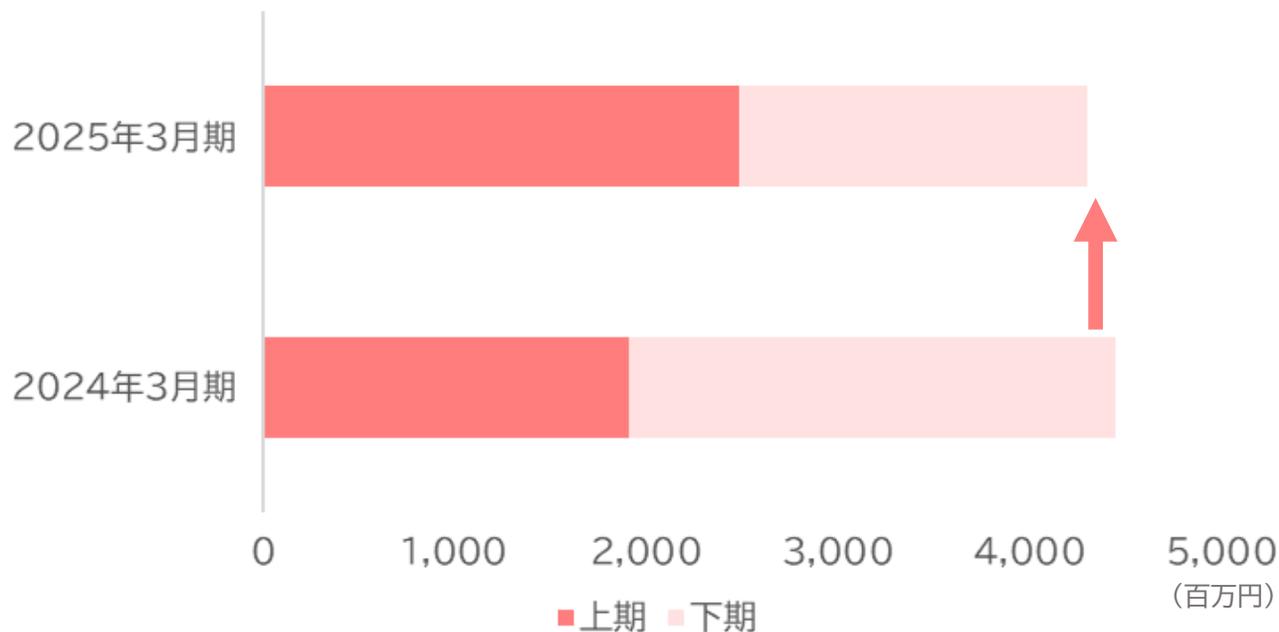
引き続き新規用途向けグリシンが好調

2025年3月期上期までの分野別進捗

売上高 上期実績	売上高 通期予想	進捗率 対 通期予想
24.9 億円	43 億円	58%



売上実績・予想



◇上期

国内向け・輸出ともに増収

高機能性材料の輸出販売が好調

農薬中間体の販売は減少

◇下期

昨対比増収に向けた活動に注力

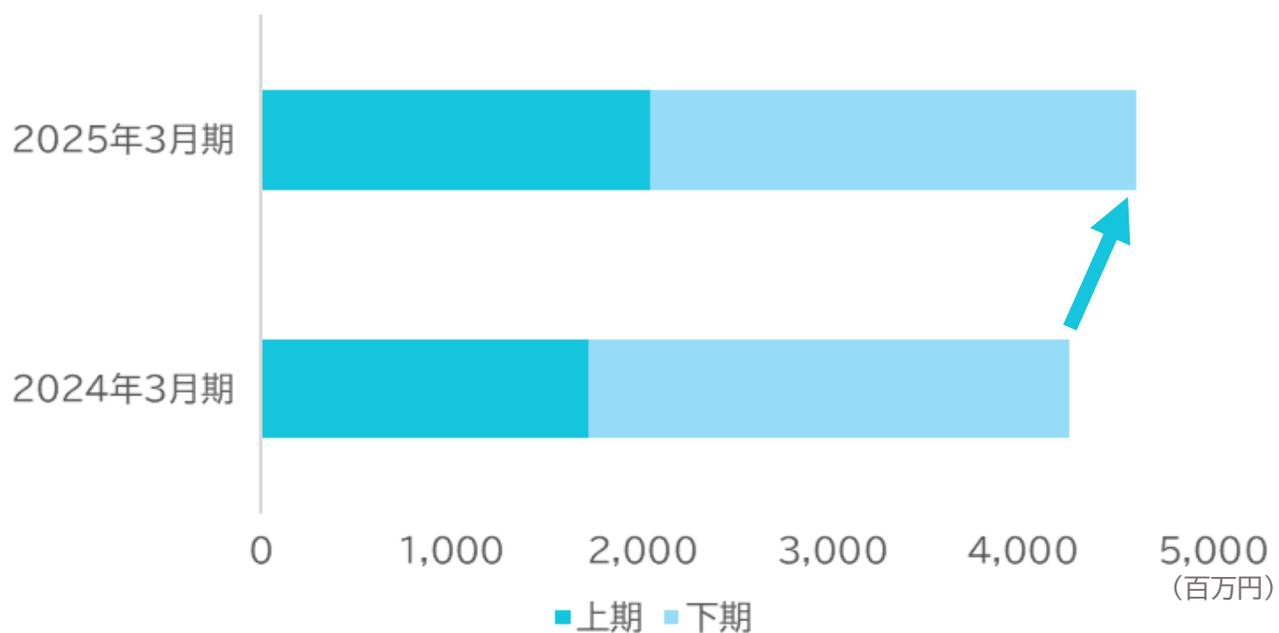
下期予想は保守的に見ており、1月以降の需要によっては、上振れの可能性

2025年3月期上期までの分野別進捗

売上高 上期実績	売上高 通期予想	進捗率 対 通期予想
20.4 億円	46 億円	44%



売上実績・予想



◇上期

国内向けが増収

国内向け原薬等の販売が順調

◇下期

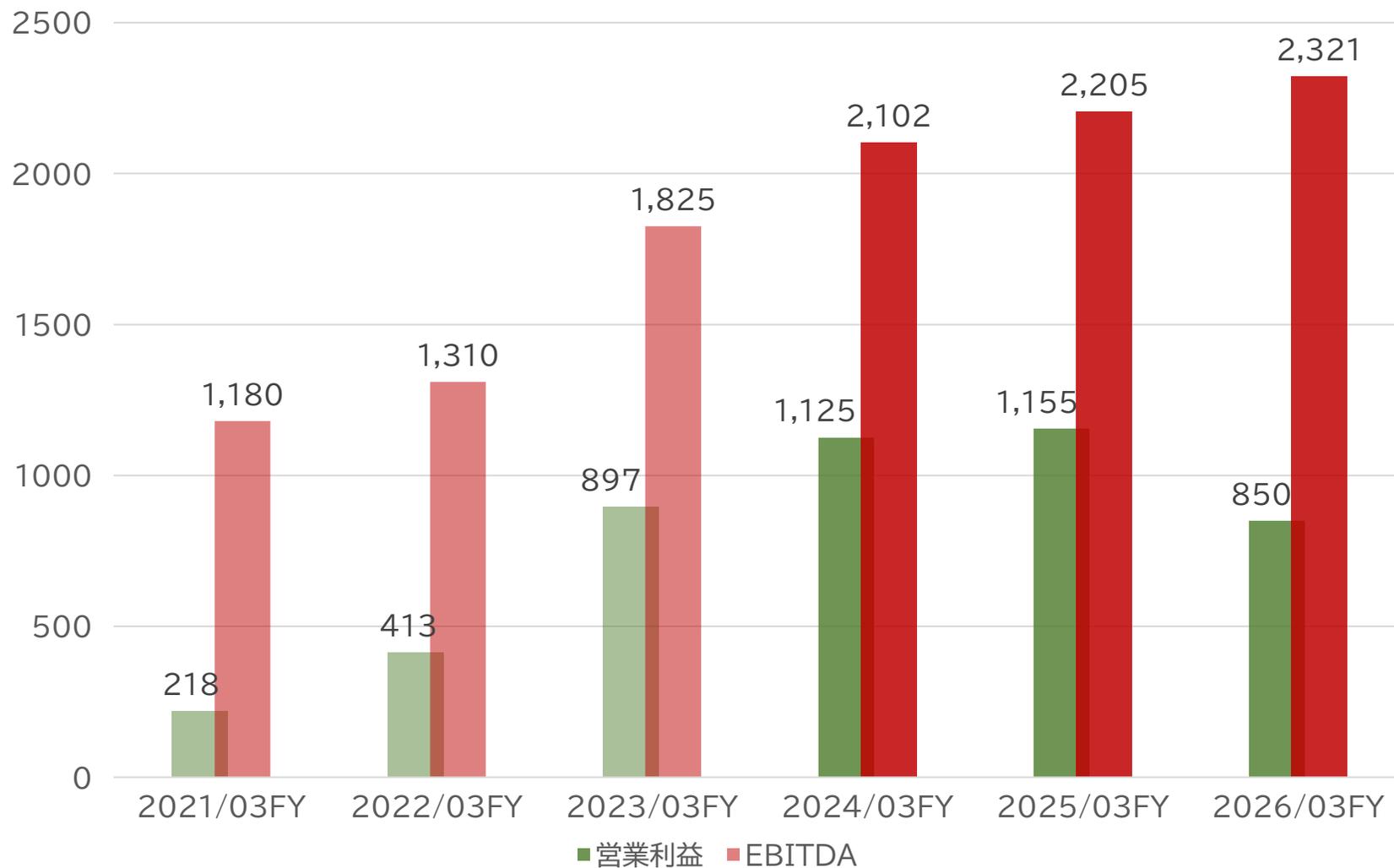
引き続き国内向け原薬の売上が好調

2025年3月期上期決算

	2024年3月期 上期 (百万円)	2025年3月期 上期 (百万円)	対前期比 (%)	2025年3月期 通期 (百万円)
	実績	実績		計画
売上高	5,799	7,197	+1,398	14,000
営業利益	238	484	+246	1,155
経常利益	249	437	+188	1,140
純利益	170	366	+196	800
EBITDA	723	978	+255	2,205
EBITDAマージン	12.5%	13.6%	+1.1%	15.7%

収益力(キャッシュ創出力)の強化

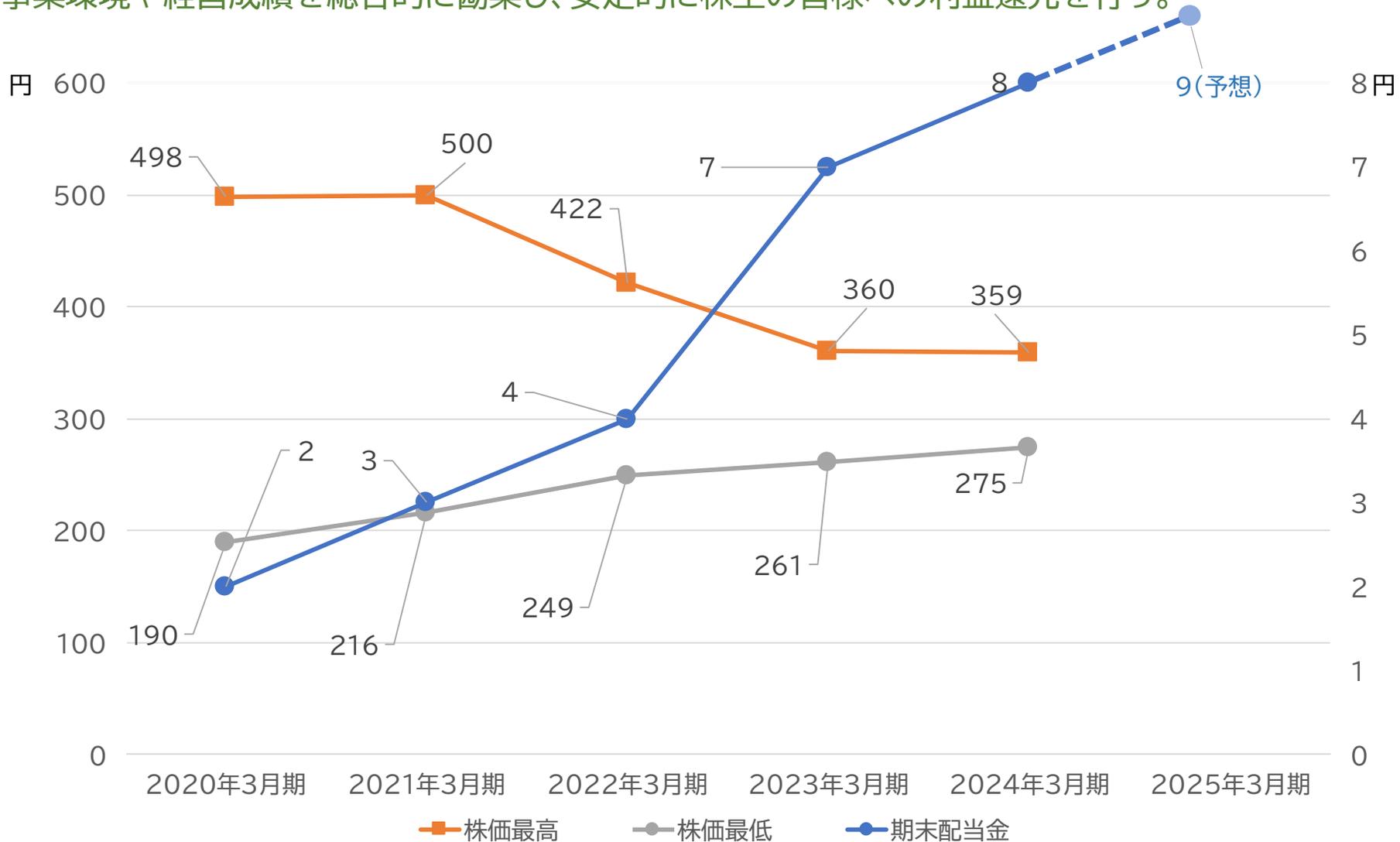
営業利益率7%目標、EBITDA2倍(対2021年3月期)を目標



配当実績

配当性向(実績)
22.7~35.2%

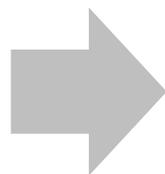
経営基盤の強化に向けて内部留保の確保に努めつつ、
事業環境や経営成績を総合的に勘案し、安定的に株主の皆様への利益還元を行う。



自己株式取得実績

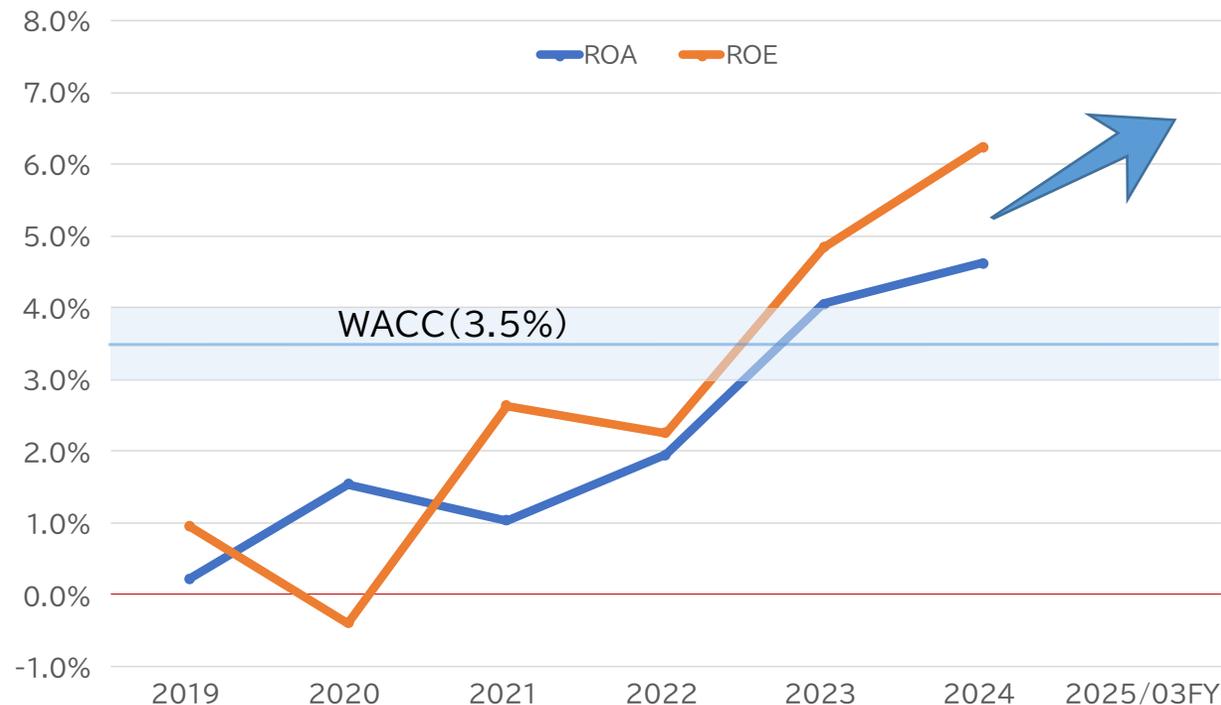
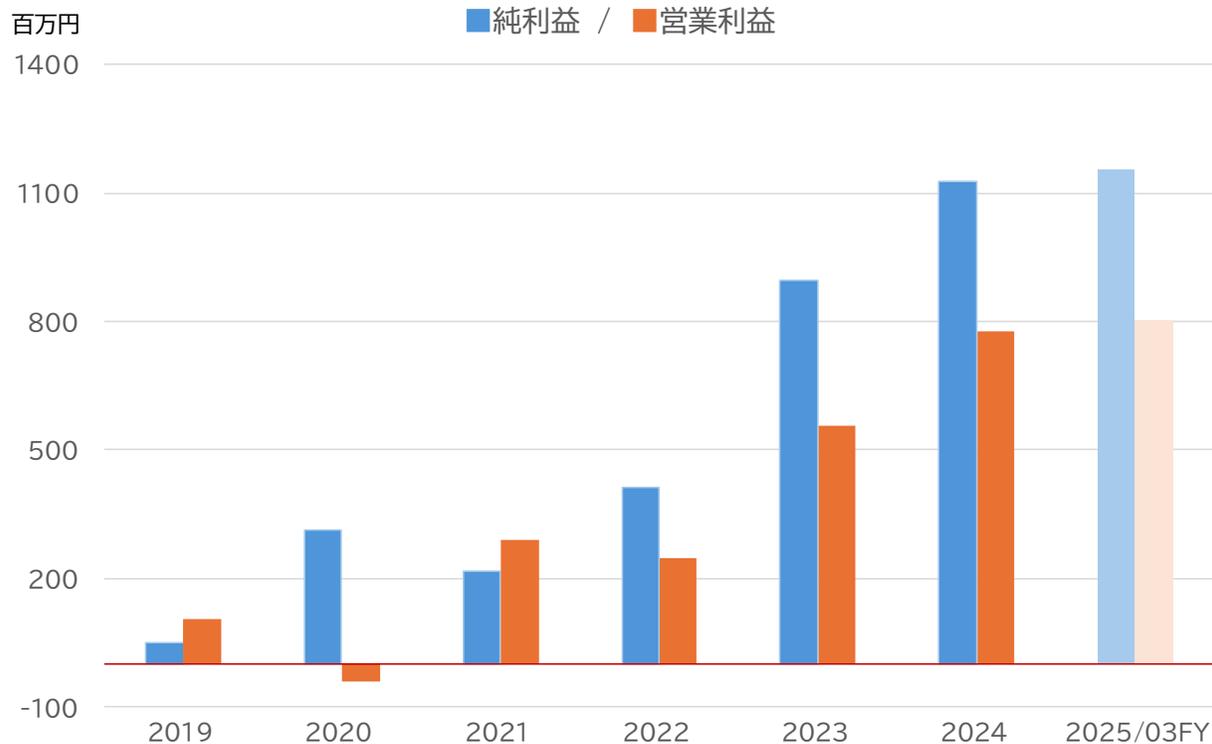
	取締役会決議内容 (2024年7月31日開催)	取得実績
取得対象株式の種類	当社普通株式	同左
取得株式総数	28万株(※)	28万株
株式取得価額総額	100百万円	75.8百万円
取得期間	2024年8月5日～同年12月30日	2024年8月5日～同年11月8日
取得方法	東京証券取引所における市場買付	同左

(※)発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.27%



2025年3月期
 配当性向(予想):24.2%
 総還元性向(予想):33.7%

資本コストを意識した経営の実現に向けて



実行中の施策

売上高拡大による営業利益の増加
 自社株買い、増配



継続的に実施すべき施策

資産の流動性向上(EBITDAマージンの向上)
 連続増配の継続
 業績に直結する投資

アミノ酸のトピックス

-開発したサプリメントをECサイトで発売-



これまでにな**い新しい組み合わせ**

グリシンのほのかな甘みで飲みやすくなったルイボスティーで
毎日の休息をしっかりサポート

 国産グリシン 3000 mg 高品質"ユーキのグリシン"	オーガニック ルイボスティー 有機栽培&ノンカフェイン
---	---

ユーキテクノサービス(当社100%子会社)を通じて販売中

特許出願中： ミトコンドリアの活性化、サーチュイン遺伝子活性化、グリシン入りルイボスティーなど



有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

人の役に立ち 人によろこばれるものを創る

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

頂いたご質問とその回答

ご質問1. 研磨剤(CMPスラリー)の対象金属は何ですか？

→回答. 当社のアミノ酸が使われている対象金属は主に銅になります。

ご質問2. 中計における2026年3月期に営業利益が減少するのはどのような理由によるものですか？

→回答. 医薬品とアミノ酸の大型設備投資に伴う減価償却がこの年度のみ重複することが要因です。

ご質問3. アミノ酸製品は石油由来の原料で作られているのですか？

→回答. 当社のアミノ酸製品は石油由来の化学品を原料としています。

ご質問4. 化成品にPFAS(有機フッ素化合物)は扱われていますか？

→回答. 当社は環境問題になっているPFASを扱っておりません。

ご質問5. 東証の市場再編に伴う株主構成(取引先)の変化はありますか？

→回答. 株主構成は時代とともに変化しておりますが、東証の市場再編に伴う変化はありません。